

【部材表】

この度は、南榮工業の商品をお求めいただき ありがとうございます。
 本商品を組み立てる前に、裏面「安全上の注意」をお読みください。

No.	品名	数量	規格	形 状
1	柱用 パイプセット	2組	19φ×1335SHH mm	 *各支柱に①シールが張ってあります
2	②天幕支え用 パイプ	5	19φ×700BB mm	 *各支柱に②シールが張ってあります
3	③ 後方ベース用パイプ	2	19φ×785H mm	 *③シールが張ってあります
4	④ 後方柱用パイプ	2	19φ×1125B mm	 *④シールが張ってあります
5	⑤後方横ベース用パイプ	1	19φ×650 mm	 *⑤シールが張ってあります
6	樹脂ジョイント	2	19φ用	
7	Tバンド	2	19×19	 Tバンド 紐
8	天幕 (一体幕)	1	MaiMai 専用幕シート	
9	U 字杭	4	8 φ×250 mm	

必要な工具



プライヤー

部品の取付けに



はさみ

部品袋開封に



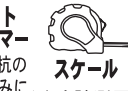
ゴムハンマー

樹脂ジョイントとパイプの差込みに



セットハンマー

U字杭の打込みに



スケール

(寸法計測用)

寸法

間口：700 mm

奥行：2430 mm

高さ：1550 mm

約寸

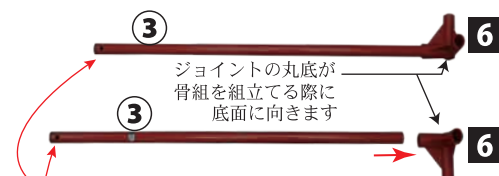
替幕

販売しております。

替幕のお求めは、本商品をお買い求めいただきました販売店様か、同商品をお取扱いいただいております販売店（ホームセンター・オンラインショップ）様から、お問合せ、ご注文いただけます。

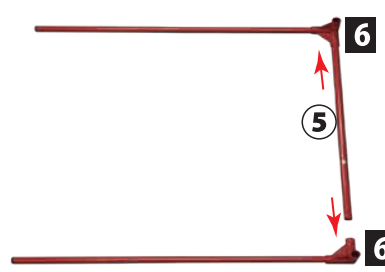
1 後方骨組を組立てます。

- ⑥樹脂ジョイントに③③後方ベース用パイプを差し込み、後方左右ベースを組立てます。

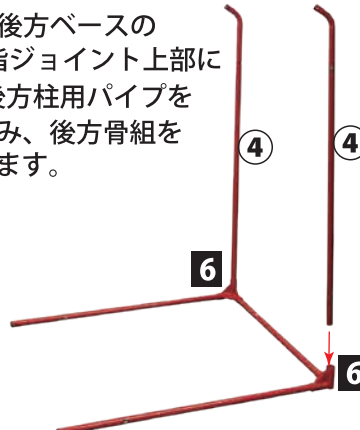


③は穴付が、こちら側になります。ジョイントの丸底に対して、直角に向くように差し込んでください。

- 組んだ後方左右ベースの⑥樹脂ジョイントに⑤⑤後方横ベース用パイプを差し込み、後方ベースを組立てます。



- 組んだ後方ベースの⑥樹脂ジョイント上部に④④後方柱用パイプを差し込み、後方骨組を組立てます。



2 中央部骨組を組立てます。

* ①柱用パイプセットに ②②天幕支え用パイプを取付けていきます。



- ①柱用パイプセットを②②天幕支え用パイプの幅に合わせて、壁などに立たせます。



- ①①柱パイプ差込部にある銀色のポッチを押し込み、②②天幕支え用パイプにある穴を確認し、①を取り込んでいきます。①が、奥まで差し込まれると、銀色のポッチが穴から出てきます。※ポッチが穴から出るように、差し加減を調整してください。







※同様に、他の ②②も取付けてください。

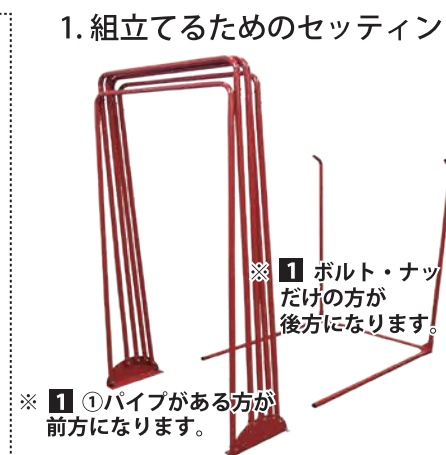
※指を挿んだり等のケガなどに
お気をつけください

3 全体の骨組を組立てます。

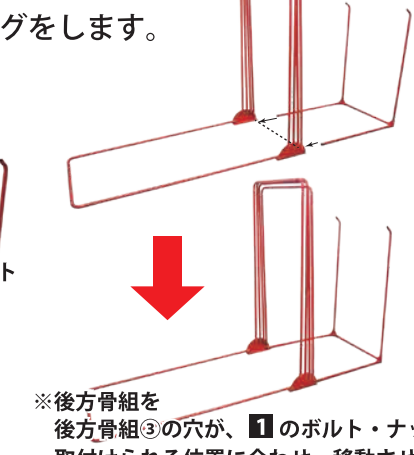
- 組立てるためのセッティングをします。



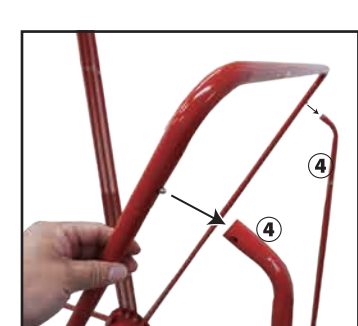
※ボルト・ナットだけの方が、後方骨組側になります。



※①①パイプがある方が前方になります。



※後方骨組を後方骨組③の穴が、①のボルト・ナットを取付けられる位置に合わせ、移動させます。



※① 後方にある①+②を後ろに倒し、銀色のポッチを、後方骨組の④の先端に入れ込む形で、立てかけます。



- 各部を固定していきます。



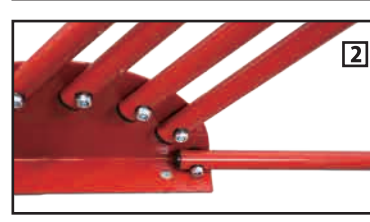




⑦Tバンドの蝶ナットを外し、バラした状態にて、図解のように取付け、蝶ナットを締め込み、しっかり固定します。

※中央部骨組ベース部と、後方骨組ベース部※





中央部骨組ベース部の、ナット、ワッシャーを一個づつ外し、ネジ部を③の穴に通した後、ワッシャー、ナットを締め込み、しっかりと固定していきます

4 天幕を被せていきます。



- ⑧は、赤いファスナー（2本）がある方が後方になります。

- 各①+②（柱+支え用パイプ）を左下の図解位置に展開します。



- ⑧の、2本のファスナーを開き、骨組に被せていきます。

④に固定した①+②の上に、手前の①+②を一組だけ残しておきます。



- 幕の四方四隅などが、バランスよく、被っているか確認、調整してください。

5.④に固定した①+②の上に、
一組だけ残していた①+②を
8の形に沿って、天幕加工状の
一番高い部分に、移動させます。

※ファスナーを開けた後方部分から
内側に入って、作業をします。



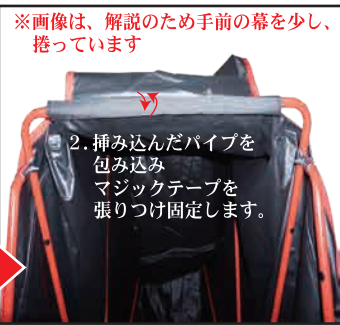
6. 再度、全体のバランスを調整してください。



5 天幕を固定していきます。

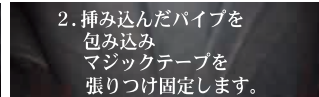
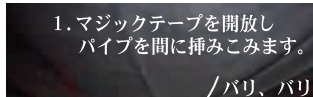
*各①+②を、8の内部から、谷間の形状（マジックテープのある位置）に合わせつけ、その個所のマジックテープで
各①+②を固定していきます。*

後方一番手前



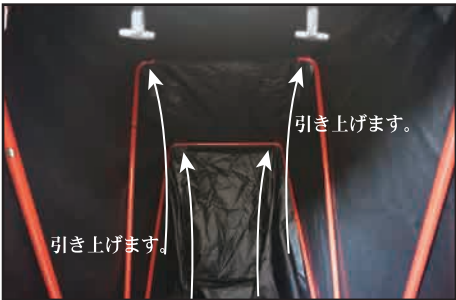
手前から2番目

5の5.で移動した①+②をマジックテープで固定します



奥側2番目、3番目

奥側の各①+②を、マジックテープがある位置まで、引上げて移動させ、
これまでと同様の手順で、固定してください



※フラッシュ撮影のため、手前が白く写っています。

ベース部

各ベース部も、マジックテープにて固定していきます



下方にしっかりと引っ張った後
各個所を、固定していきます。

9 U字杭の固定について（地面が土の時など）

*地面が9を打ち込める場合は、
1のベース部（右画像の位置）と、
後方骨組ベースパイプ（上下、好みの位置）
を跨がせ、地面に打ち込んでください。



※地面が固い場合（アスファルト・コンクリート）
などは、下穴を電動ドリル等であけてください。

完成・使用について



閉：通常運用形態



開：入庫準備形態

付属の紐にて、一時的な倒れ防止。



柱部をまとめて
縛り付ける

ファスナー幕は、巻き上げた後、
留め具紐を使い、上部にて、固定できます。



安全上のご注意

保存版 平成30年8月改訂版

この「安全上のご注意」では、お客様や人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にご使用頂く為に守って頂きたい事項を示しています。
ご使用前の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みになり、内容をご理解の上、正しく安全にご使用頂きますようお願い致します。

警告

この項目の内容は「人が死亡または重傷*1を負う可能性が想定される内容」を示しています。

※1「重傷」とは、失明・けが・やけど（高温・低温）・感電・骨折・中毒などで後遺症が残るもの、または治療に入院や長期通院を要するものを指します。

禁止 固定を行わない設置

弊社取扱製品は、設置にはすべて「支柱の埋込」または「ベースに鉄筋杭やアンカーの打ち込み」による固定が必ず必要となっております。
固定を行わずに置くだけの設置をすると、強風時などに倒壊・吹き飛ばされるなどの事故の原因となります。必ず固定して設置してください。
置いただけの設置は絶対に行わないでください。

また、設置場所がコンクリート・アスファルトまたはタイル等の場合や設置場所の地面が固く締まっている場合、アンカーを打つ場所に、先の下穴を開ける必要があります。これらの
場所に固定用アンカーの下穴を開ける場合は、振動ドリルなどの工具が必要になります。こういった工具をお持ちでない場合は、お近くの工務店、エクステリア業者等にご相談して
設置をしてください。

禁止 建物の屋上・テラス・ベランダ等の高い場所への設置

これらの場所は固定が行えないだけでなく、強風が吹いた場合、製品が落下したり吹き飛ばされたりして、人が死亡または重傷を負ったり、周囲に損害を与えるおそれがあります。
このような場所には絶対に設置しないでください。

禁止 風が強い場所への設置

強風（ビル風・川風・海風・高い場所等）にさらされる場所を避けて設置してください。このような場所では周囲よりも強く風が吹くことがあり、思わぬ損傷を受け、事故につながる
おそれがあります。また、設置場所によっては、付属の固定クイでは、強度が不足する場合がありますので別途補強を行って設置してください。

禁止 積雪・落雪がある場所への設置

豪雪地帯のような毎年積雪のある場所では、雪の重さによって製品が損傷（シート・ネットが破れる・倒壊等）するおそれがあります。また、屋根など高い所から雪が落ちる場所へ設
置すると、落下した雪の重さに耐え切れずに製品が損傷・倒壊するおそれがあります。

禁止 傾斜地・凹凸のある場所・軟弱な地盤の場所への設置

傾斜のない平坦な場所に設置してください。傾斜地・凹凸のある場所には安定して設置できません。また、地盤が軟弱なところでは、固定を行えない為設置できません。

禁止 火の影響を受ける場所への設置

焼却炉の付近等、火気の近くには設置しないでください。

禁止 幹線道路・線路の付近への設置

強風が吹いた場合に付近の自動車や列車に衝突して重大な損害を与えるおそれがあります。

禁止 変電所・高圧電線付近への設置

強風が吹いた場合、吹き飛ばされた部材が電気施設に重大な損害を与えるおそれがあります。

禁止 その他危険な場所への設置禁止

上記以外でも危険があると思われる場所には絶対に設置しないでください。

禁止 悪天候時の設置・補修作業

悪天候時の組立・補修作業を行わないでください。災害の原因となるおそれがあります。

禁止 素手での設置・補修作業

組立・補修作業を行う時は、安全の為必ず手袋をはめて作業をしてください。

禁止 シートを張る作業について

弊社製品本体のベースを固定してから、シート・ビニール・ネット等を張ってください。ベースを固定せずにシート・ビニール・ネット等を設置すると本体が移動することで、シートや
ヒモが緩むなどの理由で、製品が損傷し事故の原因となるおそれがあります。

禁止 目的外の使用禁止

弊社取扱製品は各製品の使用目的を守ってご使用ください。他の用途には絶対に使用しないでください。特に子供の遊び場等には絶対に使用しないでください。

禁止 火気禁止

弊社取扱製品の付近や内部では絶対に火気（コンロ・石油ストーブ・バーナー・溶接機等）を使用しないでください。パイプ車庫前後幕付きご使用の場合は、前幕を開けるなどして換
気を十分にを行い、マフラーがシートに近づきすぎないようにご注意ください。

禁止 危険物の貯蓄禁止

危険物（可燃物・劇物・薬物・毒物・ガソリン・ガスボンベ・シンナー・塗料等）を保管しないでください。また、これらの危険物を積載した状態での車両の保管もおやめください。

禁止 換気へ注意

内部でエンジンのアイドリングを行わないでください。一酸化炭素中毒のおそれがあります。また、揮発性の薬品やガス等を使用しないでください。内部で発電機やポンプ等、エン
ジンを使用した場合、送風機等を使い、換気を必ず行ってください。

注意

この項目は「人が傷害*2を負う可能性が想定される内容や、物的損害*3の発生が想定される内容」を示しています。

※2「傷害」とは、治療に入院や長期通院を要さないけが・やけど（高温・低温）・感電等を指します。

※3「物的損害」とは家屋・家財及び家畜・ペットにかかわる拡大損害を指します。

注意 バイブに物を掛けない。

構造材のバイブに物を掛けたり、ぶら下がったり、物を吊るす等余計な力・重量を加えないでください。

注意 操作に関するご注意

開閉できる幕がある場合は、車の出し入れ時以外は必ず閉めてください。幕が開いていると、風に吹かれて車庫内部の車を金具等で傷つける恐れがあります。

注意 強風の場

強風時は天気情報などを参考に、前もってシート・ビニール・ネット等は外し、まとめてロープ等で骨組みに止めてください。シート・ビニール・ネット等をそのままにしておくと、破損
したり、フレームに損傷を与える恐れがあります。台風等で災害が予想される時は、パイプ車庫・パイプ倉庫・ビニールハウス・ゴルフ練習ネット等、固定して設置してある場合でも、シ
ート・ビニール・ネット等を外し、畳んで収納してください。

注意 雪が降っている場合

雪が積もった場合は、随時雪降ろし作業を行ってください。シート上に雪が積もっている場合は、雪の重さで倒壊する危険がありますので、内部には絶対に入らないでください。内
部に入る前に、必ず雪降ろしを行ってください。

注意 仕様変更

商品改良の為、仕様を予告なく変更することがあります。

メンテナンス(保持管理)について

弊社取扱製品はいくつかの点を定期的にメンテナンス(保持管理)を行う必要性があります。長期間メンテナンス(保持管理)を行わずに使用を続けると不調の原因となる場合があ
ります。製品を設置された後は、危険防止措置を含むメンテナンス(保持管理)をお客様の責任において行ってください。

注意 アンカー・固定ひもの点検

弊社取扱製品を固定しているアンカーがぐらついたり抜けている箇所がないか、また固定ひもが切れたり、緩んだりほどけている箇所がないか、定期的に確認してください。アン
カーや固定ひもに問題を見つけた場合は、早めに補修を行ってください。放置すると、シート・ビニール・ネット等が強風時に飛ばされる恐れがあります。

注意 シート・ビニール・ネットの点検

弊社取扱製品のシート・ビニール・ネット等に破れたりほつれたりしている箇所や、裂けている箇所がないか定期的に確認してください。シートの破損を放置すると、破損箇所が大
きく広がったり、シート・ビニール・ネット・フレームに悪影響を与える恐れがあります。

注意 降雨後のお手入れ

雨が降った後などシートに水がたまった場合は、シート上に水がたまらない様に、シートをピンと張るように張り直してください。水がたまままにすると、フレームが倒壊する
原因になる恐れがあります。

注意 交換用部材の発注について

交換用シート等のご注文は、それぞれの型番でご注文ください。部材の型番は、部材表・組立説明書に記載してありますので大事に保管してください。



製造 南榮工業株式会社
発売元

